

**第2回 まちづくり推進隊詫間 まちの魅力発掘コンテスト
応募書類**

応募者名	森さくら	団体の場合 担当者名	
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
作品名	みんなが観光大使&サポータープログラム		

1. あなたが提案する詫間町の魅力と地域資源

詫間町のどのようなところに魅力を感じるのか、できるだけ具体的に理由を添えて記載してください。

※各記入欄は拡張可

- ・海、山、まち（パン屋、カフェ、雑貨屋など）、自分のお気に入りの場所を見つければ、1日、ゆっくり楽しむことができるまち
- ・庄内半島や島を中心に、伝統の祭りなども大切に受け継がれていること

2. 魅力の活用プラン

あなたが感じるまちの魅力を、どのように活用すれば詫間町の活性化につながるのかを記載してください。

みんなが観光大使&サポータープログラム

案1：志々島 ガイド&サポーター任命制度

（粟島も同様にできる可能性あり）

・志々島ガイド育成

例：3回程度のガイド育成研修+実際の案内実施などを通じて、認定証を発行

以後、志々島案内ガイドとして、まちづくり推進隊に登録

志々島のガイド事業が依頼された場合、派遣の可能性あり（謝礼などは内容に応じて）

・志々島 島の伝統料理サポーター

例：3回程度の料理講習会参加などを通じて、今、島に残る伝統料理をマスターする

以後、志々島伝統料理サポーターとして、まちづくり推進隊に登録

おもてなしの機会には、サポーターとして参加できる方は参加する

案2：こども観光大使 詫間町ガイドプログラム

- ・詫間町内の学生を中心に、市内のいくつかのスポットとを案内できるように育成
数回の勉強会を通じて、案内できるスキルを磨く
謝礼には、今、よく耳にする「地域通貨」のようなものを発行して、町内の案内スポットなど、
ガイドに案内してもらうことでメリットのある方に協賛してもらって払う
- ・1年目は日本語で勉強、2年目は英語で案内できるように。

3. プランの実施効果

プランを実施することで、対象地域にとってどのような効果があるのか、箇条書きで記載してください。

- ・地域のことを知っている人たち、つながりを持っている方から、次世代に伝える
- ・その次世代が、市外から来る方をおもてなしする
- ・同時に町内の人たちの結びつきも深める

4. その他資料について

写真・絵・図・表・などを活用して、プランの実施イメージ図などの補足資料がある場合、添付してください。